

中小企業の経営支援に関する取り組み事例(25年4月～26年3月)

タイトル	地域密着型金融を基に新たな収益機会の獲得を目指す経営支援
◎動機(経緯)	A市にある産業廃棄物処理業者B社は、価格引下げ競争と廃棄物処理費の増加で資金繰りが圧迫されて来た。地元説明会を繰り返しながら最終処分場設置許可取得に漕ぎつけたものの、その間水資源確保や焼却炉稼働問題に防災区域作成と搬入路整備の課題が加わった。当組合では、営業店長を中心に支援先役員とのバンクミーティングで経営計画進捗確認と経営問題の共有で解決対応を図りたい。
◎取組み内容	条件変更は経営改善計画を基に金融支援を前提に取組みました。企業経営者、取締役、営業店長、企業担当者は毎月1回のバンクミーティングを行い改善計画の進捗管理と設置工事の状況把握で情報共有に努める一方経営力強化を図る目的で開始から8年目を迎えた「リョーシン経営塾」へ将来の経営者が参加、経営力強化や会員相互のビジネスマッチング、経営問題に関する相互理解の強化を行いました。また経営力強化支援法に基づく補助事業の公募には、経営革新等支援機関として制度の情報提供と取組確認支援を行って来ました。
◎成果(効果)	・事業計画⇒事業申請⇒事業許可⇒工事完成⇒検査⇒供用開始に至る間に10年以上の時間と経費を要している。その間には経済環境や規制・制度の変化で経営状態に変動があったものの、地域密着型金融の実践で将来の事業継続を含め経営を安定させるために必要な設備の更新支援や月別売上目標管理の取組みで、経営者の意識改革と経営資源管理をもって安定経営へのビジネスモデルとした。

中小企業の経営支援に関する取り組み事例(25年4月～26年3月)

タイトル	外部専門家を活用し事業価値を高めた経営改善支援
◎動機(経緯)	C市にある木工業D社は、創業25年の業歴を持つが本来的には木製品加工業であり、売り上げの98%を占める親企業の業績と受注単価引下げ要請や繁閑差の影響を避けるため、オリジナル製品開発やインターネットでの販路拡大策を取ったが業者間の競合や景気の停滞で売上はピーク時の13%までに落ち込んだ。他行との連携で条件変更実行と外部専門家派遣を活用した経営改善支援を行う。
◎取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・得意先別、製品別の売上高と利益率の算出</li> <li>・既存の生産技術、品質管理を生かし「ムダ」の排除で他社に負けない製造コストの実現</li> <li>・収益性の改善を行うために、自社ブランド商品の開発、製造、販売に注力</li> <li>・地域需要創造型等起業・創業支援事業の補助金活用によるブランドの確立</li> </ul> 以上、収益性の改善、自社ブランドの確立、生産能力の向上とコストダウンを基本に販路開拓を行う。補助金の申請については、認定機関として計画書確認を行なう。
◎成果(効果)	営業店長と外部専門家による企業支援の成果として積極的販路拡大を図り、取引先数を10倍に増加させた。それによって売上高は急回復、営業C/Fなどの改善が見られる。今後3年間の間に自社オリジナル商品の開発と、介護用家具開発を行い自社ブランドの確立で顧客の期待に副って行くとの方向性に確信を得た。

## 地域の活性化に関する取組状況(24年4月～26年3月)

(1) 経営支援に係る連携	
<p>商工会議所・商工会等と連携し、地域の経営者との経営相談・経営改善・支援貸出しに取り組みました。</p>	<p>地区商工会・商工会議所等との連携により、経営相談、経営支援に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会議所会員サポートローン</li> <li>・商工会議所会員さまを対象に、ご利用しやすい事業者ローンを取扱いしております。</li> <li>・無担保スピード保証融資</li> </ul> <p>広島県、広島県信用保証協会と提携した無担保融資を取扱っております。</p>
(2) 身近な情報提供	
<p>市町村・商工会議所・商工会等と連携し、町づくり等地域活性化に取り組みました。</p> <p>経営コンサルタント「株式会社タナベ経営」との連携で、リョーシン経営塾を開催、身近な情報提供に努めました。</p> <p>地域を担う若い世代への金融知識の普及</p>	<p>リョーシン経営塾、経営情報レポートにより情報提供を行い、適切な経営相談、アドバイスに努めました。</p> <p>「株式会社タナベ経営」と提携した、リョーシン経営塾では、会員皆様の経営力強化等に役立つセミナーを開催しました。また、個別相談も受付けております。</p> <p>地域の学校が毎年実施する職場体験学習(キャリアスタート)に協賛、リョーシンを選んだ中学生(参加者4名)に金融業務の職場体験を通じ、仕事や社会ルールなどについて勉強の場を提供しました。</p> <p>産学連携先である福山平成大学の学生ほか、就業体験制度(インターンシップ)に3名を受入れ、自らの専攻や将来の職業選択に生かすため就業体験をされました。</p>
(3) 多重債務者に係る取組み	
<p>あのネット機能等を活用し、多重債務予防に取り組みます。</p>	<p>ライフプラン(将来の生活設計)を作成・アドバイスを行い、多重債務者の予防を図っております。</p>